千葉大学医学部附属病院で食道がんと診断され
免疫チェックポイント阻害薬を投与された
患者の皆様、ご家族の皆様へ

２０２６年２月１５日

薬剤部

薬剤部では、「食道癌患者における免疫チェックポイント阻害薬誘発腎障害リスク因子の検討」を行っています。以下に示す方の診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

２０２４年１月１日～２０２５年１２月３１日の間に当院食道胃腸外科で食道癌と診断され免疫チェックポイント阻害薬を投与された方

１．研究課題名

「食道癌患者における免疫チェックポイント阻害薬誘発腎障害リスク因子の検討」

２．研究期間

２０２６年承認日～２０２９年３月３１日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

３．研究の目的・方法

近年の食道がん治療では、免疫チェックポイント阻害薬と呼ばれる抗癌剤が使用されることが増えています。免疫チェックポイント阻害薬は、自身の免疫細胞が活性化することにより多様な副作用が報告されており、その一つには腎機能障害も含まれています。しかしながら、副作用のリスク因子は明らかになっていません。

そこで本研究では、食道癌で免疫療法を受けている患者さんを対象に併用薬やその他の因子を調査し、免疫チェックポイント阻害薬の副作用についてのリスク因子を明らか

にすることを目的としています。

本研究においては、氏名等の個人を識別できる情報を削除し、研究 ID に置き換えた情報は千葉大学医学部附属病院薬剤部で解析が行われます。氏名等と研究 ID との対応表は外部には提供されません。

４．研究に用いる情報の種類

診療情報：診療録に記載されている年齢、性別、身長、体重、薬歴、治療歴、生化学検査、血液学的検査等の臨床検査結果、有害事象に関する記述

５．研究組織（情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：千葉大学医学部附属病院薬剤部　教授・薬剤部長　石井 伊都子

６．個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院薬剤部において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

（URL：http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html）

７．研究に関する相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒２６０－８６７７

千葉県千葉市中央区亥鼻１－８－１
千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）
薬剤部　薬剤主任　金子 裕美
０４３（２２２）７１７１　内線６４９７